

一般質問

○入札について
○人材教育について



さとう くによし 佐藤 邦夫

質問

山田町の町発注工事で談合の疑いにより、役場職員が逮捕されるという事件がありました。市長はどのように感じられましたか。また奥州市においては談合をなくす工夫をすべきだと思います。8月5日に行われていた入札で、最低制限価格を下回った業者が非常に多く（最大12社参加中10社が失格）、また最低制限価格が予定価格の86〜87%と高い数字であり、落札価格と、最低制限価格で失格業者との差額はごくわずかで、疑わしい部分もあるような気がします。このような疑念を払拭するための手段と方法のひとつに、予定価格と最低制限価格を列記し、速やかに広報すべきだと思いますが、現状と方向性を伺います。

市長

山田町の事件は非常に遺憾です。奥州市においてはこのようなことのないように公正で透明な入札を行いたいと考えます。職員にも徹底し業者にも更なる協力

をお願いしてまいります。予定価格の公表は入札後直ちに、また最低制限価格は、落札業者との仮契約締結後に行っていますが、今後は提案も含め検討してまいります。

質問

現在の学校教育の中で、問題点のひとつは、大学受験一辺倒の暗記教育、パワーのある子どもも右倣えできない個性のある子どもを無理矢理よい子にしよう、悪くいえば教師の楽なような教育になっていきます。学校教育全体を考え直すと同時に、英才教育やリーダー教育も必要ではないか伺います。

市長

そのとおりなので、今後検討してまいります。

○公共施設の地域材利用について
○中山間地への人口定住化について



さとう しゅうこう 佐藤 修孝

質問

市内の学校建設や公共建築物、また学校の机椅子の製作は市有林や地域材を使用して、木材の自給体制をつくることを提案しますがどのように考えるか伺います。学校や公共建築物に必要な

部材が調達できるかどうか毎木調査をし、木材を分離発注する方法も考えてまいります。また、市産木材の利用推進指針を定め、教育委員会や関係部課長で構成する「市産木材利用推進連絡会議」を組織し、協議検討します。

教育委員長

今日までの学校建設は、木材については地域材や県産材を使用することを設計書の中で指示しております。机、椅子については、耐久性、堅牢性、使い勝手等の検証が必要と考えています。



紫波町産材100%の上平沢小学校木造校舎

質問

中山間地の人口激減地域を特定し、考えられるさまざまな定住化策を施し、一定の成果を挙げようとする試みを提案しますがどのように考えるか伺います。

市長

基本的には地域の主体的な取り組みが第一であり、それに沿って行政が財政支援等の応援をする、いわゆる地域と行政の協働が大切と考えています。

質問

ホームページの空き家情報に、その地域の祭りや地域ゆかりの人物等も発信してはどうか伺います。また、その地域の祭りや四季の里山景観等を挿入したプロモーションDVDを作成し、発信してはどうか伺います。

市長

それぞれの地域には個々の歴史や文化があるわけで、そのことが地域の魅力であれば、外に発信して定住化につなげたいと考えます。

○小沢市長の選挙公約について



おいかわ よしお 及川 善男

質問

「小沢市政で何も変わらない」「小沢カラーがみえない」等という市民が少なくないですが、先の市長選挙で「市政の変革」を訴えた市長として、これらの市民へどのようなメッセージを送られる